

「風の又三郎」映写会と講演会

(昭和15年制作)

11月15日(日) pm 1:00～4:00

会場 米里地区センター研修室

講演会「宮沢賢治のこの地への訪れと風の又三郎」

講師 大江昌嗣 (NPO法人イーハトーヴ宇宙実践センター理事長)

「風の又三郎」と「風野又三郎」について、水沢緯度観測所やジェット気流と風の又三郎の関わり等について色々教えていただきました。



「風の又三郎」映画会

大江先生の講演の後、昭和15年制作の「風の又三郎」の映写会。大江先生に色々お話を聞いていただけに、一つ一つのシーンの宮沢賢治先生と監督の意図が分かり、とても学びの多い映画会になったと思います。戦前の田舎の様子も興味深く、参加者から好評でした。特に、戦前の花巻―釜石の通称花釜線のカラス列車が走り、昭和世代の私達には懐かしく、昔を思い出しました。いつものことながら先生のお話は内容が広く、深く、おもしろい。

※大江先生＝大江昌嗣先生

- ・ 国立天文台名誉教授
- ・ NPO 法人イーハトーヴ宇宙実践センター理事長

＜宮沢賢治の詩碑「人首町」の建立に地区民300名以上から賛同を得、取り組んでいます。賢治が2度目に訪れた3月24日完成を目標にしています。設置場所は人首町を見下ろせる壇が丘(通称ダンナガネ)です。宿泊した菊慶旅館、世話になったお医者さん角南医院、葉書を出した旧米里郵便局が見えます。また、遠くに奥羽山地が見渡せます。＞

＜「藤城清治の旅する影絵『日本』(講談社)に「風の又三郎」に関わる旧木細工小学校の絵と種山ヶ原で馬を追う子どもたちの絵が掲載されています。なお、旧木細工小学校は地元の人達が補修しながら保存しています。＞

